

熊本県社会福祉士学会 第5回大会

「福祉サービスの充実に向けた社会福祉士の取組みを考える」 ～福祉サービスにおける意思決定支援と権利擁護の視点～

日 時：2019年3月2日（土）10:00～16:10（受付開始 9:30）

会 場：熊本県立大学 中ホール（熊本市東区月出3丁目1-100）

参加費：会員 無料 / 一般 500円（※定員200名）

第1部

基調講演（10:15～12:00）

テーマ：「成年後見制度における意思決定支援」

講 師：弁護士 原村 憲司 氏

＜講師プロフィール＞

昭和53年3月 九州大学法学部卒業

昭和55年4月 判事補任官（大阪地方裁判所判事補）

平成2年4月 判事任官（福岡地方・家庭裁判所柳川支部判事）

平成22年3月 判事依頼退官（長崎家庭裁判所判事）

平成22年6月 弁護士登録（熊本県弁護士会）

平成25年5月 原村法律事務所開設、現在に至る。

公職 熊本市代表オンブズマン、熊本県公益認定等審議会会長、熊本県行政文書等管理委員会委員

弁護士会における所属委員会

高齢者・障害者に関する委員会、子どもの人権委員会、法教育委員会



原村 憲司 氏

第2部

シンポジウム（13:00～14:50）

テーマ：「福祉サービスにおける意思決定支援と権利擁護の視点」

シンポジスト：西 恵美 氏（熊本市手をつなぐ育成会 副会長）

田村 稔 氏（子どもサポートセンターぴゅーぱ センター長）

窪田 寛史 氏（熊本市西3地域包括支援センター）

コメンテーター：原村 憲司 氏

コーディネーター：紫藤 千子

第3部

実践研究発表会（15:00～16:00）

1 「第三者評価委員会の活動を通じて

立花 雄一郎

～第三者評価を通じて見えてくる権利擁護～」

（第三者評価委員会）

2 「熊本市南区有志の多職種連携の会（南来〔なんくる〕あるサー）

田中 詠志

～多職種連携に必要なエチケットやルールの作成を通じた活動例～」

3 「医療機関でソーシャルワーカーとして働くこと

湯藤 陽子

～急性期病院での退院支援において様々な価値観の間で葛藤した事例～」

主 催 一般社団法人 熊本県社会福祉士会

後 援 熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県弁護士会、熊本県司法書士会、熊本県精神保健福祉士協会、熊本県医療ソーシャルワーカー協会、熊本県臨床心理士会、

熊本県社会福祉協議会、熊本県市町村社会福祉協議会連合会、熊本県社会福祉法人経営者協議会、

熊本県老人福祉施設協議会、熊本県養護協議会、熊本県保育協議会、熊本県知的障がい者施設協議会、

熊本県社会就労センター協議会、熊本県身体障害児者施設協議会、熊本県救護施設協議会、

熊本学園大学、九州ルーテル学院大学、九州看護福祉大学、熊本社会福祉専門学校、熊本YMCA学院、

熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、熊本放送、テレビ熊本、くまもと県民テレビ、熊本朝日放送、

エフエム熊本、日本社会福祉士会

＜お問い合わせ先＞ 一般社団法人 熊本県社会福祉士会（<http://kumacsw.com/>）

〒862-0910 熊本市東区健軍本町1-22 東部ハイツ105

TEL: 096-285-7761 FAX: 096-285-7762 e-mail: kumacsw@lime.plala.or.jp

申込書は裏面です

熊本県社会福祉士会 事務局 宛
FAX : 096-285-7762
E-mail : kumacsw@lime.plala.or.jp
(※メールの件名に【学会参加申込】と記載してください。)
申込締切 : 2019年2月22日 (金)

熊本県社会福祉士学会 第5回大会 参加申込書

■参加お申し込みのプログラムに全て○を付けてください。

1、基調講演 2、シンポジウム 3、実践研究発表会

申込日 2019年 月 日

申込者	フリガナ 代表者氏名	
	フリガナ 氏名	
	フリガナ 氏名	
勤務先		
連絡先住所 (代表者)	〒 -	
TEL(代表者)		
E-mail(代表者)		
車椅子等での ご来場	有	無
	その他	

問い合わせ先
一般社団法人 熊本県社会福祉士会 事務局
〒862-0910 熊本市東区健軍本町1-22 東部ハイツ105
TEL : 096-285-7761 FAX : 096-285-7762
E-mail : kumacsw@lime.plala.or.jp

熊本県社会福祉士学会 第5回大会 開催要項

- 1、目的：高齢・障がい・教育・児童・医療などの分野で活躍する社会福祉士や医療・保健・福祉・教育の関係者が日頃の研究や実践を専門的見地から発表し、協議を行うことで社会福祉に関する研究の進展に寄与することを目的とします。
- 2、主催：一般社団法人 熊本県社会福祉士会
- 3、テーマ：「福祉サービスの充実に向けた社会福祉士の取組みを考える」
～福祉サービスにおける意思決定支援と権利擁護の視点～
- 4、日時：2019年3月2日(土) 10時00分～16時10分
- 5、会場：熊本県立大学 中ホール
熊本市東区月出3丁目1番100号
- 6、参加費：会員 無料 ／ 一般 500円（資料代として）
- 7、定員：200名（先着順 ※定員を超えてご参加をお断りする場合のみ連絡いたします。）
- 8、参加申込：チラシ裏面の申込書にて2019年2月22日(金)までにお申し込みください。
- 9、研修単位：新生涯研修制度では、生涯研修制度独自の研修・実績の「都道府県社会福祉士会が行う学会への参加」として0.2単位となります。
- 10、プログラム：
9:30～10:00 受付
10:00～10:15 開会・会長挨拶
10:15～12:00 基調講演
13:00～14:50 シンポジウム
15:00～16:00 実践研究発表会
16:00～16:10 学会閉会式
- 11、基調講演テーマ：「成年後見制度における意思決定支援」
講師：弁護士 原村 憲司 氏
- 12、シンポジウムテーマ：「福祉サービスにおける意思決定支援と権利擁護の視点」
シンポジスト：
田村 穎 氏 (子どもサポートセンターぴゅーぱ センター長)
西 恵美 氏 (熊本市手をつなぐ育成会 副会長)
窪田 寛史 氏 (熊本市西3地域包括支援センター)
コメントーター：原村 憲司 氏
コーディネーター：紫藤 千子

13、実践研究発表会：演題 3 題

1) 第三者評価委員会 立花 雄一郎

第三者評価委員会の活動を通じて
～第三者評価を通じて見えてくる権利擁護～

2) 田中 詠志

熊本市南区有志の多職種連携の会（南来〔なんくる〕あるサー）
～多職種連携に必要なエチケットやルールの作成を通じた活動例～

3) 湯藤 陽子

医療機関でソーシャルワーカーとして働くこと
～急性期病院での退院支援において様々な価値観の間で葛藤した事例～

14、後 援：熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県弁護士会、

熊本県司法書士会、熊本県精神保健福祉士協会、熊本県医療ソーシャルワーカー協会、
熊本県臨床心理士会、熊本県社会福祉協議会、熊本県市町村社会福祉協議会連合会、
熊本県社会福祉法人経営者協議会、熊本県老人福祉施設協議会、熊本県養護協議会、
熊本県保育協議会、熊本県知的障がい者施設協会、熊本県社会就労センター協議会、
熊本県身体障害児者施設協議会、熊本県救護施設協議会、熊本学園大学、
九州ルーテル学院大学、九州看護福祉大学、熊本社会福祉専門学校、熊本YMC A学院、
熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、熊本放送、テレビ熊本、くまもと県民テレビ、
熊本朝日放送、エフエム熊本、日本社会福祉士会

問い合わせ先 一般社団法人 熊本県社会福祉士会 事務局

〒862-0910 熊本市東区健軍本町 1-22 東部ハイツ 105

TEL (096) 285-7761 FAX (096) 285-7762

e-mail : kumacsw@lime.plala.or.jp

<http://kumacsw.com/>